

お知らせ

<2005年1月から2013年12月までに川崎医科大学附属病院呼吸器外科において

原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんへ>

研究課題名：縦隔リンパ節転移を有する（N2）IIIA 期非小細胞肺癌の診断・治療・予後に関する包括的検討

現在、『肺癌診療ガイドライン』においてもリンパ節転移を伴うIIIA期の原発性肺癌に対する標準的治療は、明確に規定されていません。これは治療前に正確な診断が困難であることや病態が多彩であることなどが原因とされています。そのため、当科においても肺癌の診療に関わる診療科の合同カンファレンスで相談しながら、個々の患者さんの病態に応じて治療を行っています。

今回、2005年1月から2013年12月までに当院呼吸器外科で原発性肺癌のため手術を受けられた方のうち、臨床病期または病理病期IIIA期と診断された方を対象として、治療・手術前の診断の正確性や施行された治療、およびその治療成績を検証して、これまで行ってきた診断・治療の現状や問題点を明らかにして、さらには今後の診療・治療の改善を目的とする研究を行います。具体的には診療記録（カルテ）より診断・治療に関する情報を収集して解析を行います。遺伝子の検索は行っておりません。

この研究への参加を希望されない方、データの送付を希望されない方は、川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページ（<http://www.kawasaki-m.ac.jp/gts/>）から電子メール（gts@med.kawasaki-m.ac.jp）、または川崎医科大学呼吸器外科学教室（直通086-462-1124）または下記研究者に連絡をお願いします。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用する臨床研究であるため、このような利益相反の状態にはなりません。

なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ていますことを申し添えます。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院呼吸器外科 講師 最相晋輔

電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：川崎医科大学病院代表(086-462-1111) 呼吸器外科実験室(内線 25519)

FAX：086-464-1124